

春日部市立看護専門学校の学校運営評価

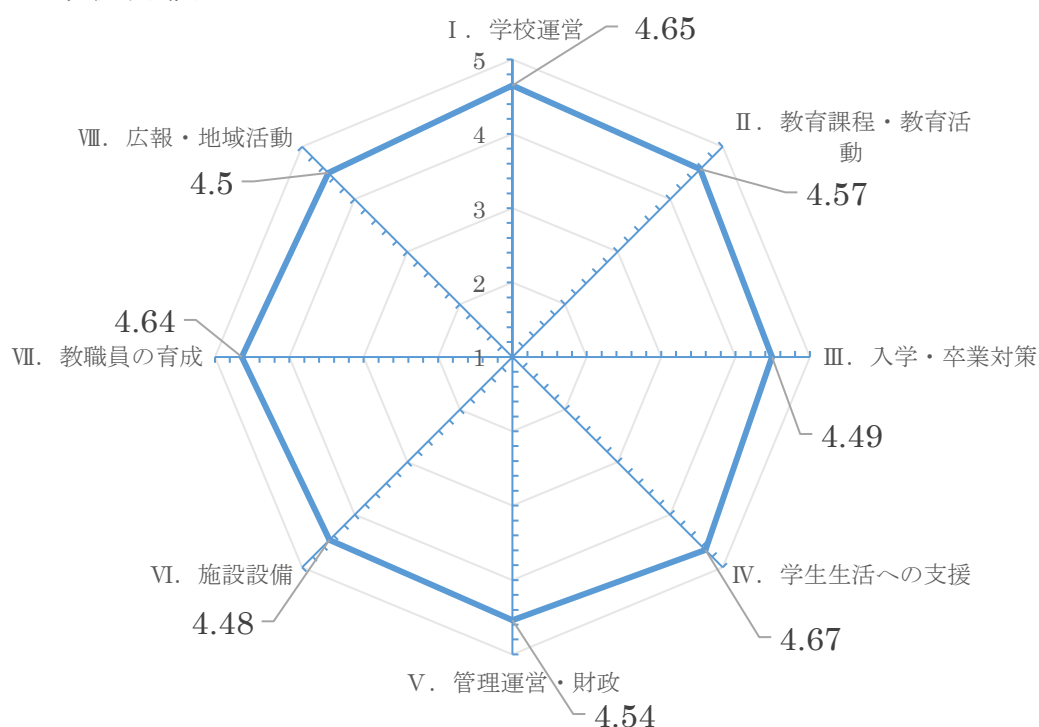
本校では、教育機関としての機能の維持・向上を目的とし、学生から信頼され魅力ある学校づくりにつなげることを目標に、教職員による「学校評価」、学生による「授業(講義・実習)評価」、教員による「授業(講義・実習)評価」、「学生満足度調査(卒業時)」、「保護者満足度調査」を実施しております。今回は、令和6年度の結果を報告いたします。

令和6年度 学校運営評価について

1) 学校評価 ; 8 領域(42 項目) 5 段階評価

各領域ごとの細項目			
Ⅰ. 学校経営	目標(運営目標・組織目標の策定	Ⅳ. 学生生活 への支援	進路相談の実施
	目標(運営目標・組織目標の評価		学業継続のための支援体制
	評価内容の公表		学生の身体的側面の健康確保
	会議の開催と組織の機能		教科外活動の支援
Ⅱ. 教育課程・ 教育活動	教育理念・目標の設定と分析	Ⅴ. 管理運営 財政	計画的な予算の計画・執行・管理
	教育課程の評価		個人情報保護
	授業計画・評価の実施		危機管理体制
	時間割の妥当性		学生意見の反映
	指導方法・内容の妥当性	Ⅵ. 施設設備	施設・設備の安全・安心確保
	授業(講義・実習)評価の実施		設備・教材の整備
	実習環境・指導体制の妥当性		学生のための施設・設備の提供
	実習指導者と教員の協力		図書室の整備
	単位認定の公平性・妥当性		実習室・備品の整備
	実習時の倫理的配慮	Ⅶ. 教職員の 育成	研修への参加
	インシデントの把握・分析		学会・研修参加の成果の還元
	学生・教員自己評価の考察		臨床研修の実施
			研究等の実施
Ⅲ. 入学・卒業 対策	受験生確保への取り組み	Ⅷ. 広報・地域 活動	他教員の授業参観・リフレクション
	看護師国家試験対策の実施		専門領域の能力向上
	学生相談の実施		広報活動の実施
	卒業後の状況把握と支援		地域活動・地域貢献
	地域への就職率の向上		

学校評価



《考察》

例年通り、8 領域(42 項目)を 5 段階の評価基準で評価しました。その結果、全体平均は 4.57 で 8 領域すべて 4.0 以上と全体的にバランスは整っているといえます。昨年度、8 領域中、最も低い数値であった《VIII. 広報・地域活動》では、ホームページの定期的更新、春日部市公式 SNS への学校行事の紹介、春日部ララガーデンイベント「はじめてのお仕事体験」ボランティア（学生・教員）、選択科目「郷土体験学習」（郷土資料館見学・麦わら帽子工場見学）、大冨マラソンボランティア（学生・教員）、災害時医療救護訓練ボランティア（学生・事務）、埼玉県医療人材課主催「ナースのお仕事体験教室」（教員）、埼玉県看護協会主催「看護の出前授業」（上尾南高等学校）、「犯罪被害者支援の輪を広めるキャンペーン」ボランティア（学生・事務）など、学校として出来る限りの活動を実施してきました。今後も、地域に根ざした学校運営を目指していきたいと考えております。

2) 学生による授業(講義・実習)評価

1) 授業(講義)の学生評価；15 項目 5 段階評価

(1)学生の講義への取り組み(4 項目)

(2)講義の進め方(7 項目)

(3)講義内容(3 項目)

(4)学生の達成度(1 項目)

2) 授業(実習)の学生評価；10 項目 5 段階評価

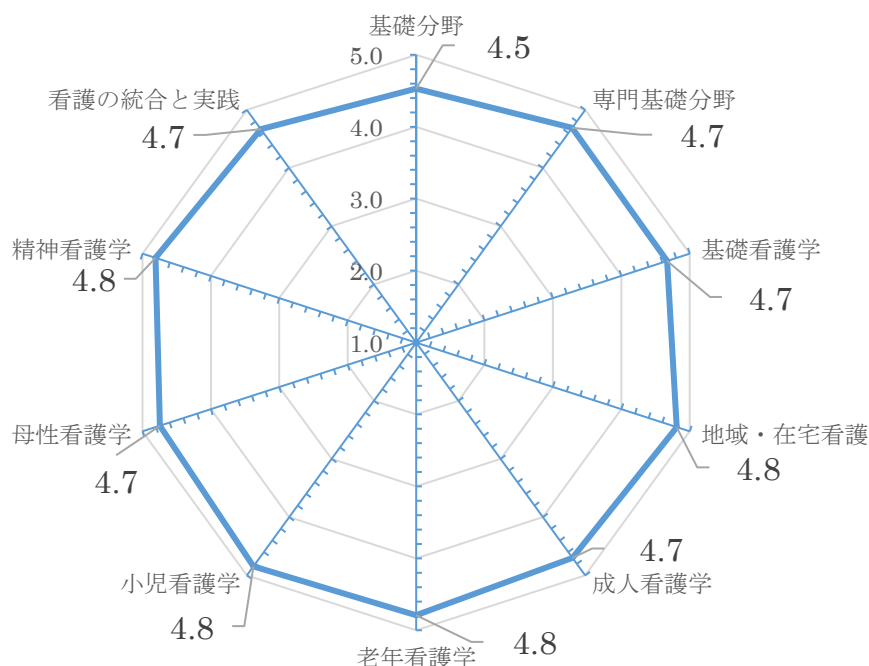
(1)学生の実習への取り組み(3 項目)

(2)実習内容・方法(2 項目)

(3)教員・指導者の関わりおよび環境(3 項目)

(4)学生の達成度(2 項目)

学生の授業評価



《考察》

授業(講義)の学生評価のうち、外部講師の授業評価については、講義開始時に承諾をとり実施しました。また各科目ごとの集計結果は、次年度の講義開始時にお渡しし、講義に活かしていただきました。授業(実習)の学生評価については、各実習終了後、実習グループごとに学生に評価表を配布・回収し、副学校長・教務主任・実習調整者にて協議後、教務会議にて教員間での共通認識を図りました。

カリキュラム改正により昨年度から専門分野における評価は、講義・実習を含む評価とし、基礎分野・専門基礎分野・専門分野(各看護学)の全 10 項目で表すよう変更しました。結果は、すべての項目において 4.5 以上と高値であり大きな偏りもありません。今後も学生が主体的に講義・実習に臨めるような教育活動ができるよう、外部講師との協力・連携を深めるとともに、教員同士の授業リフレクションなどを通して自己研鑽に努めていきたいと考えております。

3) 教員による授業(講義・実習)自己評価

1) 授業(講義)の教員自己評価; 20 項目 5 段階評価

(1) 講義準備(8 項目)

(2) 講義の実施(10 項目)

(3) 教員の満足度(2 項目)

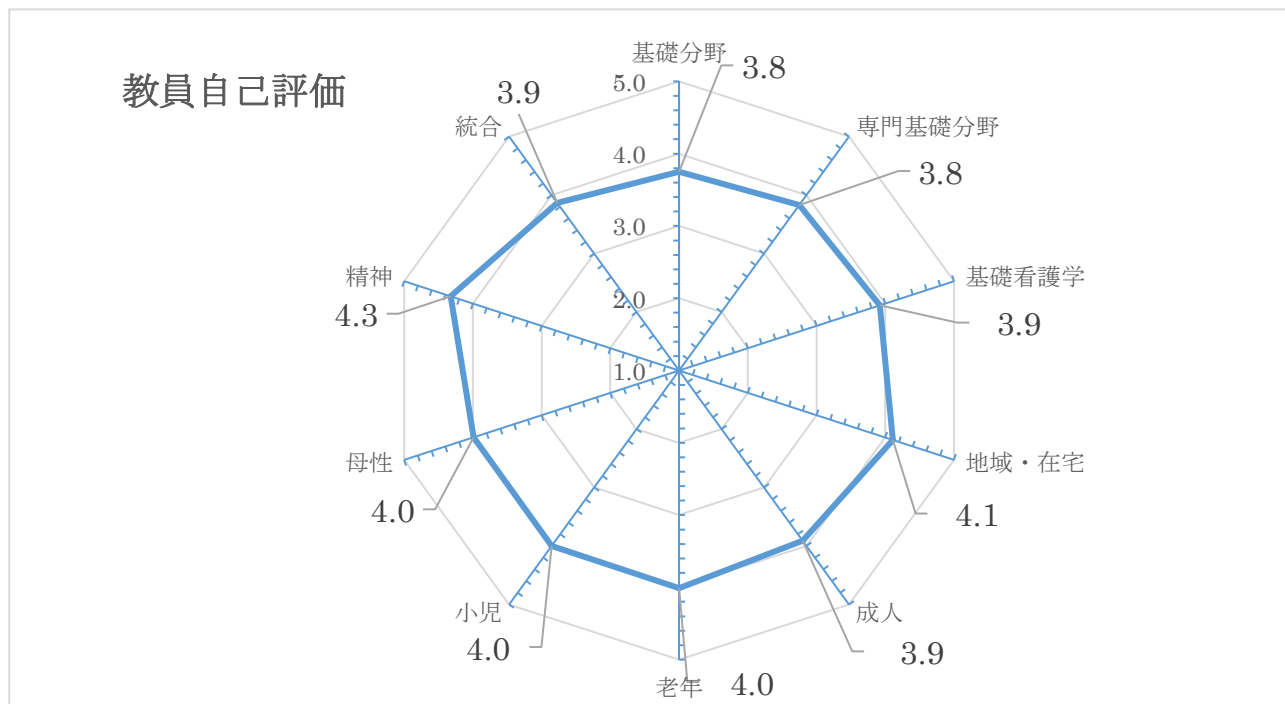
2) 授業(実習)の教員自己評価; 10 項目 5 段階評価

(1) 実習指導準備(3 項目)

(2) 指導内容・方法(4 項目)

(3) 実習調整・連携(2 項目)

(4) 教員の満足度(1 項目)



《考察》

教員による授業(講義・実習)の自己評価については、専任教員が担当する全科目において評価を実施しました。学生による授業(講義・実習)評価と同様に、カリキュラム改正により昨年度から専門分野における評価は、講義・実習を含む評価とし、基礎分野・専門基礎分野・専門分野(各看護学)の全 10 項目で表すよう変更しました。結果は、すべての項目において 3.8 以上であり大きな偏りもありません。授業計画・評価については、講義・実習とも、教務会議にて意見交換を実施し、教員間の共通認識を図りました。学生による授業(講義・実習)評価に比べ、低値となっている項目もありますが、今後も、教員自身が客観的に自己の教育活動を振り返る姿勢を忘れず、次年度の課題を明らかにしていきたいと考えております。

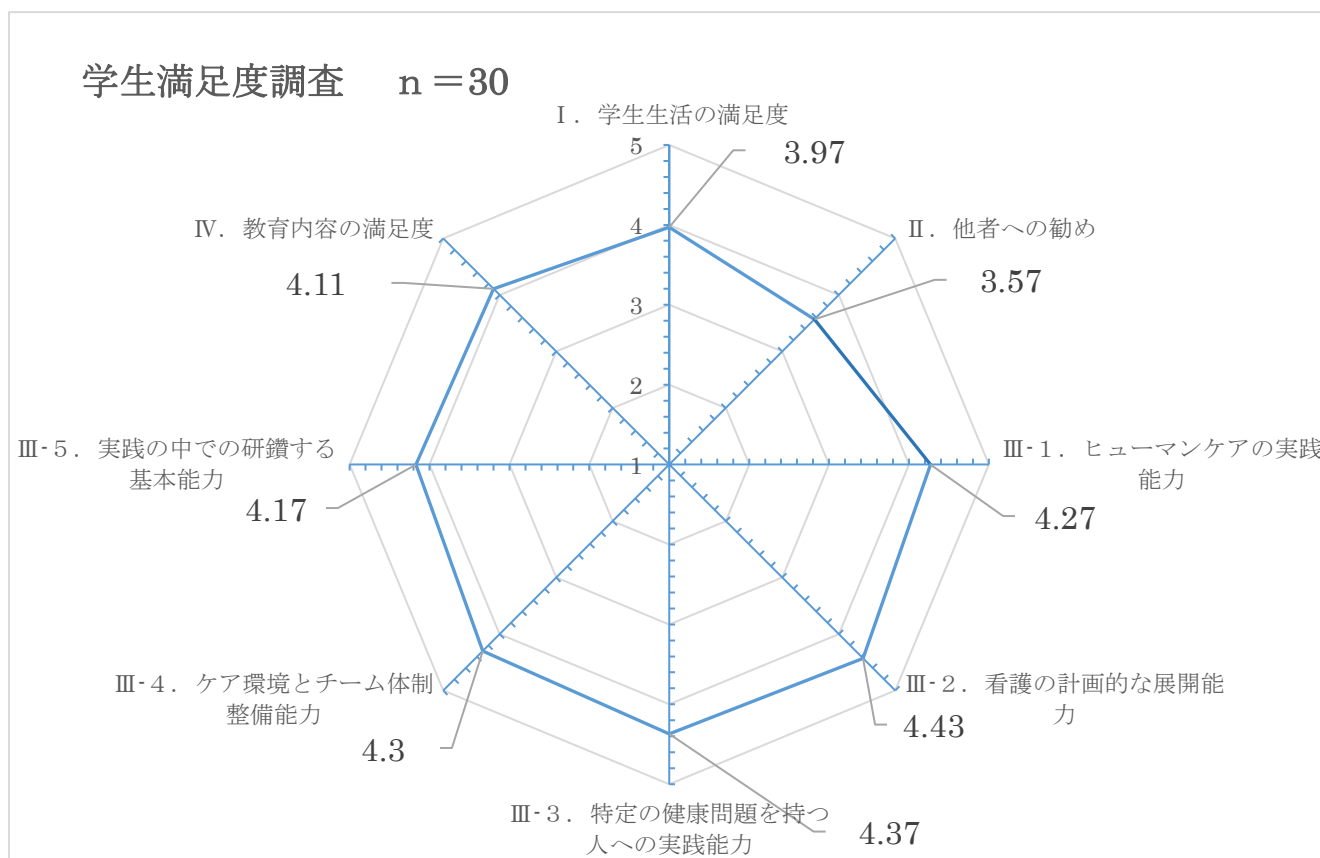
4) 学生満足度調査(卒業時) ; 15 項目 5 段階評価

(1)学校生活の満足度(1 項目)

(2)他者への勧め(1 項目)

(3)卒業時に身につけてほしい能力(5 項目)

(4)教育内容の満足度(8 項目)



《考察》

3 年生(19 期生)の卒業直前に、アンケート調査を実施しました。回収率は 100%でした。卒業生の本校での学生生活の満足度は 3.97、教育内容の満足度は 4.11 でした。卒業時に身につけてほしい 5 つの能力においても、平均 4.3 とほぼ達成しており高値でした。

最後の自由記載欄には「親しみのある教員がいて良い学校だと思う」「少人数の学校なのでかなり手厚いサポート体制や指導をしていただいた」などの意見のほか、施設設備に対する意見（暖房機器や I T 環境の充実など）、教育活動に対する意見（教員間の指導の統一など）が寄せられました。施設の老朽化に対しては、できる限り計画的に、施設修繕や教材・教具の購入を実施し、公共施設事業調整課との連携による今後の検討をすすめ、学生の学習環境の整備に努めていきたいと考えております。

5) 保護者満足度調査；7項目 5段階評価

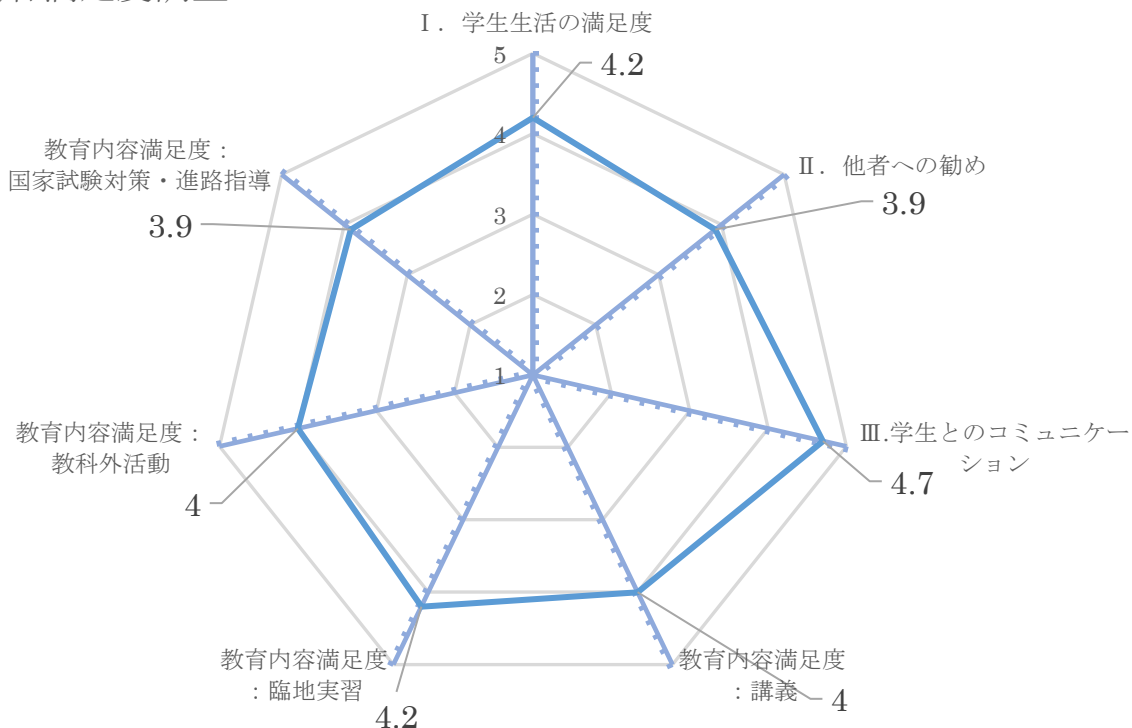
(1) 学校生活の満足度(1項目)

(2) 他者への勧め(1項目)

(3) 学生とのコミュニケーション(1項目)

(4) 教育内容の満足度(4項目)

保護者満足度調査 n = 48



《考察》

調査表は学生経由で保護者にお渡しし、封書厳封の上、再び学生経由で回収させていた。回収率は 88.9% でした。保護者の《学生生活の満足度》4.2、《教育内容の満足度》4 項目(講義・臨地実習・教科外活動・進路指導)の平均は 4.0 と高値でした。

最後の自由記載欄には、「実習に毎朝早く出かけ、課題に取り組む姿を見て大変な毎日だが、人生の宝となる経験をさせてもらっていると感謝している」「主体的に学ぶ環境に出会い、子どもの成長に驚いている」などの意見が寄せられました。しかし、教材・教具や教育方法(教員の学生指導、課題やレポート提出など)についての意見もありました。今後も、保護者のご意見や満足度を教職員間で共有しながら、学校運営に役立てていきたいと考えております。

今後の課題

本校の今後の課題は、《Ⅵ. 施設設備》①施設の老朽化に対する関係機関との連携強化、
《Ⅲ. 入学・

卒業対策》②入試倍率の維持・向上を図り優秀な学生を確保することがあげられます。具体的には、春日部市公共施設事業調整課との連携による今後の検討の継続、入試改革を評価し更なる変革を図るとともに魅力ある教育活動を実践していくことなどがあげられます。

学校評価については、「学校教育法」にて専修学校および各種学校の準用が規定されており、「専修学校における学校評価ガイドライン」において、自己点検・自己評価およびその結果公表が義務化されています。今後も、学校運営評価の考察から、組織的・継続的な改善方策の策定や実施に努めていきたいと考えております。